

# 学習を始めよう ～近世の暮らしと社会～

教科書 p. 96～97

Q | ①～⑤には、どんな場面が描かれているでしょうか。

●①～⑤の絵を観察して、人々の様子や、建物など町の様子を具体的に書き出してみよう。

- |   |  |
|---|--|
| ① | 立派な門と高い塀のある、大きな屋敷（大名屋敷）が並んでいる。門は、金で装飾されていたり、二階建てだったりする。<br>みこしや馬に乗っている人がいる。                            |
| ② | 行列が、橋を渡って江戸城の中に入っていく。①とは違う屋根のないみこしにかつがれた人がいる。赤いかさを差している人がいる。<br>人々が、行列の見物に来ている。                        |
| ③ | 橋の上をたくさんの人々が歩いている。高札を見上げている人がいる。<br>川を小舟が通っていて、岸にいる人とももの受け渡しをしている。屋根のついた船が、たくさんの人を乗せて橋をくぐっている。         |
| ④ | 建物の軒先にのれんが掛かっている。建物の間には、屋根が高くなっている壁（うだつ）がある。建物は輪のようになっていて、中心に中庭がある。<br>足を出した身軽な服装の人や、腰に刀を差した人などが歩いている。 |
| ⑤ | 小さな川に、船がたくさんある。右の川岸には俵が、左の川岸には材木が並べられている。橋の前には柵と門がある。<br>たくさんの人が船の上や岸で働いている。 など                        |

●①～⑤の絵は、それぞれどのような人々の様子や、どのような場所を表しているだろうか。一言で表してみよう。

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| ① | 町人などと比べて、身分が高い人の屋敷（大名屋敷）。 |
| ② | 外国からの使節の行列（朝鮮通信使の行列）。     |
| ③ | 町人たちの様子。                  |
| ④ | 店が並ぶ町の様子。                 |
| ⑤ | 船でものを運ぶ職人の様子。 など          |

**Q2** 中世と比べて変わったところ、中世から変わっていないところをそれぞれ考えてみましょう。

●中世と比べて、どのようなところが変わっただろうか。

教科書 p.60～61, p.68～69 や, p.82～83 と比べてみよう。

城が町の中心につくられるようになり、堀<sup>ほり</sup>と石垣<sup>いしがき</sup>を備えるようになった。

ほとんどの建物がかわら屋根になり、壁<sup>かべ</sup>も木ではなく白く塗<sup>ぬ</sup>られるようになった。

一般的な町人の店でも、二階建てのものが増えた。

武士と町人の住む場所がはっきり分けられた。

など

●中世と比べて、どのようなところが同じだろうか。

町の人々の服装はあまり変わっていない。

中世で生まれた商人や職人などの職業が、引き継がれている。

など

**Q3** 中世から社会がどのように変化していったのか、予想してみましょう。

政治の中心地が、京都から江戸に移った。

武士の力が強くなり、政治を支配するようになった。

江戸が、経済の中心としてもにぎわうようになった。

など

え とは く ふ

→江戸幕府の政治については教科書 p.114～115 で、

江戸時代の人々の暮らしについては教科書 p.126～127 で、くわしく学習するよ。